

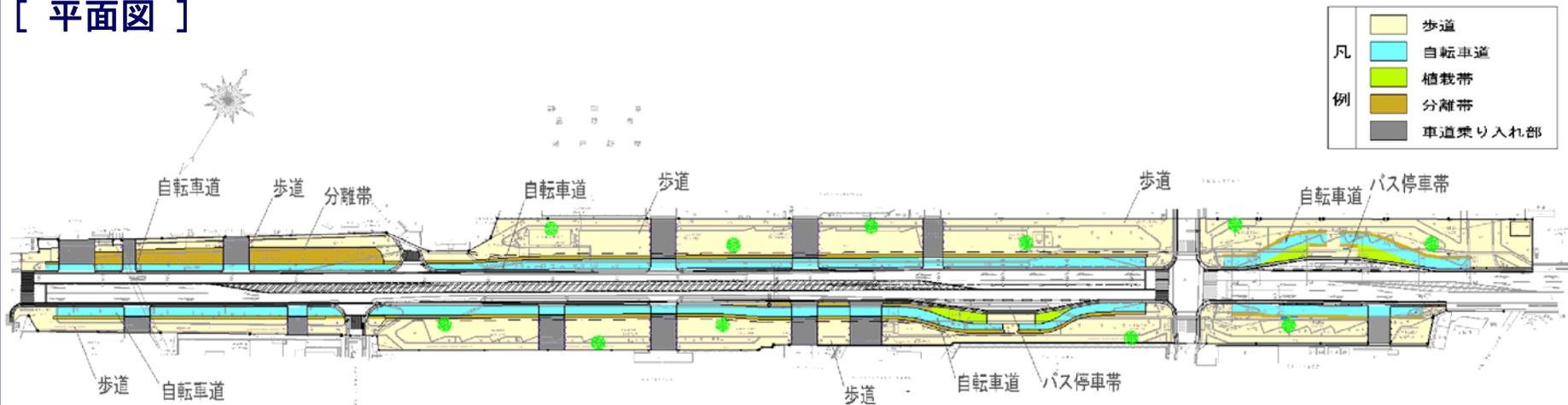
～ 国道1号藤枝市水上地区の歩道空間整備が完了 ～
自転車の通行方法が変わります。ルールに従って通行して下さい。

- 歩行者が安全・快適に通行できる歩行空間を創出
- 自転車の安全な通行を実現



- 自転車道は、車道や歩道を柵・縁石により分離した自転車専用の走行空間です。
- 自転車はカラー舗装(ブルー)・のある「自転車道」を走行しなければなりません。
- 自転車道は交互通行が可能です。自転車は左側を通行してください。
- 歩行者は  の通行部分を歩行しなければなりません。

[平面図]



国道1号藤枝市水上地区歩道空間整備

[背景]

- 周辺に住宅や小学校があり、沿道には商業施設や公共施設が立地しており歩行者及び自転車の交通が多い
- 現況歩道は狭く、また部分的に屈曲しており、歩行及び自転車走行性について、安全性及び快適性の向上が望まれる
- 車両重量検測所跡地の有効利用が求められている。
※藤枝バイパスの無料化に伴い交通量が減少し、車両重量検測所の配置計画を見直したため



<交通量>

平日 (H19.11.9)

歩行者: 172人/12h

自転車: 505台/12h

計 : 677人台/12h

重量検測所跡地



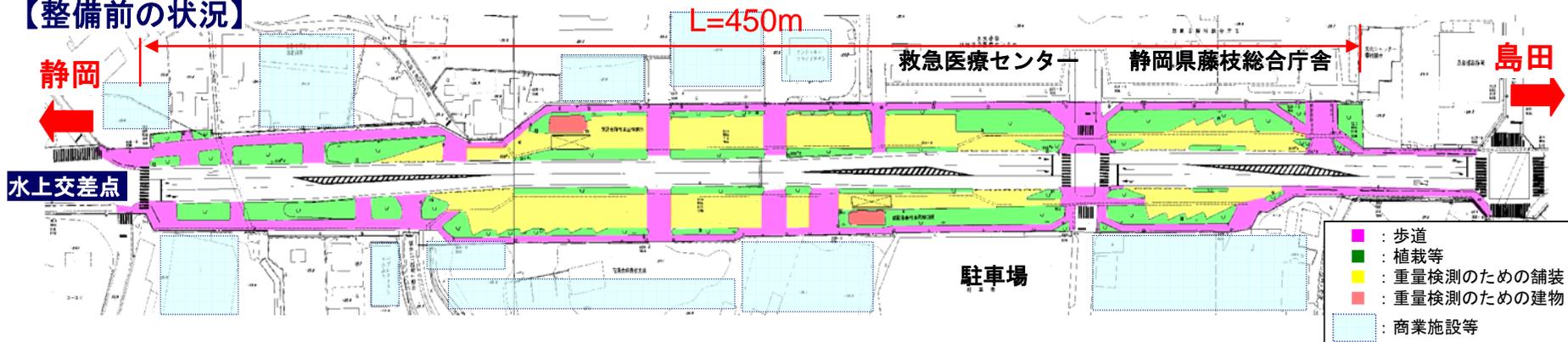
道路構造の保全と交通の安全を図るため、制限を超える特殊車両に対して、通行許可及び通行指導、取締り業務を実施する箇所。



屈曲した狭い歩道



[整備前の状況]



- : 歩道
- : 植栽等
- : 重量検測のための舗装
- : 重量検測のための建物
- : 商業施設等

国道1号藤枝市水上地区歩道空間整備

[取り組み]

- 地元自治会、PTA、商工会議所及び道路管理者でワークショップを実施
- 安全快適な歩行者・自転車走行空間の創出に向けた地域と行政の協働による検討の実施

[取り組み経緯]

平成19年度

- H19.7 I) 事前アンケート調査 (静岡産業大学)
- H19.9 II) 第1回ワークショップ (整備アイデアの抽出)
 <アイデア> 自転車と歩行者の分離、カラー舗装、夜間の安全対策、適切な植栽の配置、ベンチ(バス停)
- H19.11 II) 第2回ワークショップ (整備アイデアの具体化/整備計画素案)

平成20年度

- H20.9 整備計画とりまとめ
- H20.10 III) 第1回説明会 (整備計画について)
- H20.12 III) 第2回説明会 (整備計画について)

平成21年度

- H21.3 着工
- H22.3 歩道空間整備完了

I) 事前アンケート

静岡産業大学の協力のもとで当該区間を多く利用する大学生へのアンケート調査を実施

《参加者》
 情報学部情報デザイン学科
 2年生; 約30名



II) ワークショップ

整備計画作成に向け、地域と行政の協働によるワークショップを2回開催

《参加者》
 地元自治会・PTA・
 商工会議所等 ; 8名
 藤枝市 ; 3名
 静岡国道事務所 ; 4名



III) 説明会

整備計画に関する説明会を沿線住民等に対して2回開催

《参加者》
 地元住民 ; 約20名
 藤枝市 ; 3名
 静岡国道事務所 ; 5名

